

# ★特集 文化部★

## 『将棋ボーイズ』

小山田 桐子/著 幻冬舎 幻冬舎文庫

岩北高校将棋部は、全国大会常連の強豪。勉強も運動もダメと嘆く歩は、何となくその門を叩いたのだが、出会ったのは対局に悩む同年代部門大会優勝総なめの麒麟児・倉持をはじめとした癖の強い面子。彼らに振り回されつつも勝利の愉悦、敗北の屈辱を味わいながら将棋の魅力に目覚めていく歩。そんな彼は、何と倉持達と共に大学生まで出る全国大会のチームメンバーに抜擢される。はたして歩は“成り上がり”、大金星を上げることはできるのか？現実離れの痛快サクセスストーリーと思いきや、何とこの物語、実話がベースなんです！

## 『鉢町あかねは壁がある』カメラ小僧と暗室探偵

高木 敦史/著 KADOKAWA 角川文庫

「あんたが変なこと言うから」写真部で唯一真面目な有我遼平は、ある時弓道部取材に際し、エース女子部員退部騒動に巻き込まれた。そんな彼を鋭い推理で助けたのは、新入部員を装い暗室に籠っていた、ニヒルでドライな占い好きの幼馴染・鉢町<sup>あかね</sup>丹子であった。思春期で互いに互いを避け合っていた二人だったが、取材のたびに事件に遭遇する遼平に、丹子は何かと暗室から占いの人脈と持前の洞察力で助けるようになって…。じれったい壁越し青春ミステリ。

## 『まもなく電車が出現します』

似鳥 鶏/著 東京創元社 創元推理文庫

警察沙汰「壁男事件」により芸術棟の解体が決定し、拠点を失った各部会は熾烈な領土争いを繰り広げていた。そんな喧騒をよそに、本棟の美術室に戻り、作品の仕上げに熱を上げていた美術部ただ一人の部員・葉山。だが、行く先々で事件が起こる雨男ならぬ「事件男」である彼を、運命は見逃すわけがなかった。鉄道クラブと映像クラブの争いに遭遇した矢先に旧美術室に忽然と現れた謎の鉄道模型、消えたシチューのジャガイモ、空から降る植木鉢。推理好きの秀才暇人・伊神に助けられるものの、葉山に果たして平穩は訪れるのか…。

秋になり、学校は2学期に入ったころでしょうか。

暑かった夏も終わり…ん？今度は寒い？それはさておき今回の特集は「文化部」です。

スポーツの秋…とよく言いますが、たまには読書の秋、芸術の秋、食欲の秋もいかが？

## 『ブタカン！』～池谷美咲の演劇部日誌～ 全3巻

青柳 碧人/著 新潮社 新潮文庫nex

家庭の事情でバイトに明け暮れていた美咲は親友のナナコに代わり演劇部の舞台監督をすることになった。曲者揃いの部員たちと四苦八苦しなから、次々降りかかる難題に立ち向かっていく。時にぶつかり合いながらも手をゆるめず妥協せず、キャスト・スタッフ一丸となって世界と人生を作り上げるのが演劇の魅力の一つだと思います。芝居にかける美咲たちの青春をのぞいてみてください。果たして無事に幕は上がるのか!？

## 『「悩み部」の結成と、その結末。』 既刊5巻

麻希 一樹/著 学研教育出版

永和学園1年生のエリカ・美樹・隆也は「悩み解決同好会」通称(自称)「悩み解決部」を結成した。個性的な悩み事の数々を独特な、三種三様の方法で解決していく。リアルお嬢様な部長のエリカ、地蔵と呼ばれる秀才の隆也、そして暴走しがちな2人のプレーキ役を担う美樹。3人のもとに持ち込まれる悩み事だけでなく、周囲の人間模様も多種多様です。短編形式で進んでいくので、どこから読んでも楽しめます。イラストにも注目です。

## 『カブキブ!』 既巻6巻

榎田 コウリ/著 KADOKAWA 角川文庫

「サッカー好きがサッカー部に入るんだから、歌舞伎好きだから歌舞伎部に入りたい。無いなら作りたい!」部活担当教師の遠見をして「無理だ」と言わしめた歌舞伎好きの来栖。彼はその程度では挫けない。同好会から始めて部を設立させるために、親友トンボと共に会員候補を集めるべく奔走するが、候補は全員入会に消極的な曲者だらけ!地獄に仏と出会えた役者一家の蛸原には「素人とは付き合えん」と一蹴され…。それでも来栖は決して諦めない。回し蹴りを喰らおうがストーリー紛いになろうか突き進む彼はまさに傾奇(かぶき)者!